

平成30年度実施 大網白里市住民協働事業 成果報告書

事業名	ハマボウフウ特産品化プロジェクト	
事業主体	実施団体	市（関係課）
	街資源再興プロジェクト	農業振興課

事業費	予算額	決算見込額	市補助金額（交付決定額）
	313,200 円	376,577 円	300,000 円

【 ①目的・課題について 】

次の事項がわかるように、事業概要を記入してください。

○どのような地域課題（行政課題）、住民ニーズに対して、

○いつ ○どこで ○誰を対象に ○どんなことを ○どのような方法で実施したか。

古くから漢方薬・民間療法薬として利用されてきたハマボウフウ、山菜として地元にならわっていたハマボウフウも、乱獲のあおりから環境省レッドリストCおよび千葉県では絶滅危惧II種要保護生物に指定され、海岸からの採取は難しくなり、やがて地元の方々から忘れられてしまった。だが、一方では高級食材として料亭などで扱われている。これを大網白里の味として活かさないのはもったいない。特産品に出来ないか。昔の網元のおもてなし料理のレシピや、今でも海岸から採取して食している高齢の方等の食べ方を調査する。また漢方薬などに使われているのでその成分や効能などを調査。栽培に協力してくれる農家を探し栽培を依頼、そこで採取したハマボウフウを、飲食店へ持ち込みメニューに取り入れてもらえるように交渉し、加工品として商品化できるかなど、行政の関連部署などに協力を要請し、大網白里市の野菜としては春から初冬までの味として、また加工品は年間を通して「大網白里市に來ると高級食材のハマボウフウが手頃な値段で楽しめるよ」と言われるようにする。

又、各家庭などでも普段の食事に取り入れられるように、食材としての流通を考える。白里海岸の再生・保全活動で協力を仰いでいる里親さんに、大網白里の特産品として街おこしをする事で海岸の保全につながることを理解してもらう。

【 ②企画・効果 】

次の事項がわかるように、成果を記入してください。

- 事業の内容が具体的で目標達成に向けて適切だったか。
- 協働で行うことでどのような効果が得られたか。
- 住民の満足度は得られたか。 ○他の団体との連携や協力により効果をあげたか。
- 事業を行うことで、市民や地域、他の団体への波及効果（広がり）はあったか。

①ハマボウフウの栽培

- ・栽培物のハマボウフウを食材として広めることにより、海岸の絶滅寸前であるハマボウフウの採取を防ぎ、海岸の環境保護につなげていく。栽培の協力をしてくれる農家さんを、農業振興課からも声がけをしていただいたが、協力農家開拓はなかなか難しく、新たに試してみるという協力的な農家さんの増加につなげることは難しかった。原因としては、ハマボウフウという作物の知名度が低く、栽培方法も知られていないため、栽培に積極的になれなかったのではないかと思う、他県でも大きく成功しているのは川口市であり、大々的なハウス栽培である点で、露地栽培での事例が少なかった点にあらう。
- ・北今泉の畑で、平成 29 年 4 月に苗の定植を行った畑は驚くほど順調に育ち、1 年目でも収穫可能となった。やはり白里地区の砂地の土壌が、露地栽培には最適であることから、この畑で面積を広げて 30 年度は栽培することにした。平成 30 年 4 月には畑の面積を増やし 150 株からさらに 245 株を定植した。しかし 8 月の異常気温のため高温障害の被害にあい、ほとんどうまく育たなかった点は活動にとって大きな打撃となった。
- ・9 月に 90 センチ幅 130 穴のマルチシートに種を撒き、定植ではなく種まきからの栽培が可能かを試験的に行った。平成 31 年 3 月では 3 分の 2 は発芽し生育していることを確認している。露地栽培の成果は平成 31 年度に大きな成果が出ると予想している。異常気象の夏に収穫が見込めなくなり 8 月には一カ月協力店への納品を休み、9 月からの新芽の収穫に期待したが、やはり異常気象の影響から収穫が間に合わず補完として農家の協力でハウス栽培物を、協力店に提供する時期を早めた。ハウス栽培物も 12 月半ばから 3 月半ばまでは収穫が出来なかったため、納品を休んだ。しかしこれはハマボウフウ栽培ではどこも同じ状況であることがわかり、露地物ハウス物も収穫については 12 月から 3 月までは収穫が困難であることが分かった。

②ハマボウフウの成分解析依頼

- ・成分解析は、副市長を通じて、公益財団法人かずさ DNA 研究所で 5 月に依頼。抗酸化成分が多く含まれており、特定の成分が突出して高かったことから、機能性食材として位置づけできることから今後の可能性が広まった。

③海岸再生で活動中の里親に、特産品化で海岸を守ることにつながることを説明し、理解を求めた。→ハマボウフウ通信（環境事業で定期的に発行している）で周知する事と、海岸での保全作業時に説明を実施し、理解してもらった。

④ハマボウフウを新たな市の特産品として、ブランド化し市の活性化を図る

- ・引き続き協力店にハマボウフウを持ち込み、レシピの開発を依頼。本年度、5軒の協力店となった。今後も協力店舗および一般市場への拡充に努める。
- ・加工品の開発として、オリーブオイル、塩、七味、みそ漬け、お茶などの試作品を作った。また、ハマボウフウを乾燥させ粉末にしたものを、協力店で生パスタとして試作品を作った。パスタとパスタソースを大網高校とコラボできないかと、生物工学科 植物工場専攻金網先生へ、ハマボウフウの栽培と加工品の可能性について提案した。
- ・住民協働事業採択団体の一つでもある、翡翠会の主催する子ども食堂で、実際に市民に天ぷらを試食してもらった。「美味しい。」との声も多く、一般販売を待ちわびる声も聴かれた。

⑤農業振興課に協力農家の紹介について相談した。商工観光課や商工会とも、PR 動画作成を通じて連携がとれ始めた。

⑥実践度の高い PR 活動の確立

- ・ホームページの作成をあみナビ会に依頼し、定期的に更新、徐々にアクセス数が伸びている。
- ・協力店の PR 動画作成、ハマボウフウのネーミングに関する PR 動画作成により徐々に知名度が上がっている。YouTube や Facebook などの SNS による宣伝は、幅広い年齢層にむけてアピールできた。

⑦法人化に向けてのプランを模索

- ・公益財団法人千葉県産業振興センターの産学連携推進室にて、助成金の説明を受けた。
- ・株式会社オプティマ ビジネスソリューション統括部マネージャーの方とお会いし産学連携事業についての説明を受けた。

⑧各種セミナー参加や、大規模なビジネスフェア、地域づくりフェアの視察において、現在の事業にフィードバックできた。会員の意識が向上した。

協働による効果について、自己評価（☑）をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体	市（関係課）
<input type="checkbox"/> 効果があった <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果があった <input type="checkbox"/> あまり効果はなかった。 （理由） 環境との両輪の活動により、ハマボウフウの知名度が上がった。市との協働事業とのことで協力の幅が広がった。SNS などにより幅広い活動の紹介が出来た。他団体との協力により、具体的な事業内容の実践が可能となった。	<input type="checkbox"/> 効果があった <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果があった <input type="checkbox"/> あまり効果はなかった。 （理由） 平成30年度において、市内の5店舗にてハマボウフウの料理を提供。団体においてPR 動画の作成などを行い、外部への発信を行うことができた。しかしながら、動画の完成が年度末のため、次年度における活動に期待したい。

【 ③実行力 】

団体と市の役割分担について、実際に担った役割を記入してください。

団体の役割	市（関係課）の役割
<ul style="list-style-type: none"> ・栽培協力農家の拡充 ・市場調査 ・市内飲食店への食材としての紹介活動 ・HP や Facebook などの SNS を通じての市との協働事業としての活動の幅広いPR ・市の特産品として強調できる、オリジナリティのあるストーリー性の打ちだし ・大学や研究機関との連携による、共同研究 	<ul style="list-style-type: none"> ・会議への参加。 ・加工品の取り扱いに関する情報提供

また、その役割分担は適正であったかについて、自己評価 (☑) をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体	市 (関係課)
<input checked="" type="checkbox"/> 適正であった <input type="checkbox"/> 概ね適正であった <input type="checkbox"/> あまり適正でなかった (理由) ・広い範囲での PR 活動や、他大学や研究機関との連携など、市民団体ならではの役割が担えたと実感する。	<input type="checkbox"/> 適正であった <input type="checkbox"/> 概ね適正であった <input checked="" type="checkbox"/> あまり適正でなかった (理由) 当初計画での役割分担であった農業者の紹介は、生産方法や流通方法が定まっていなかった為、行えなかった。 また、ハマボウフウに関する生産方法についても、県内での生産農家に関する情報がないため、提供することが出来なかった。

事業スケジュールについて、当初の計画と実際に実施した内容 (実績) を詳細に記入してください。

当初の計画	実 績
4 月 栽培農家拡充(通年通じて) 市内飲食店への PR(通年通じて) 市場調査(通年通じて) 行政および栽培協力農家との情報交換(通年通じて定例会議開催) 収穫作業(自家農園含む) 5 月 収穫作業 定植作業(自家農園含む) 協力店への販売開始 (~11 月) ホームページ配信(通年通じて) 6 月 収穫作業(自家農園含む) のぼり旗作成(協力飲食店向け)	4 月 栽培農家拡充(通年通じて) 市内飲食店への PR(通年通じて) 市場調査(通年通じて) 収穫作業(自家農園含む) 5 月 収穫作業 定植作業(自家農園含む) 協力店への販売開始 (~11 月) ホームページ配信(通年通じて) 協力店の PR 動画作成 かずさ DNA 研究所へ成分解析依頼 乾燥パウダー作り 6 月 収穫作業(自家農園含む) YouTube に動画公開、Facebook での広告 かずさ DNA 研究所より分析解析表 千葉県産業振興センター訪問

<p>7月 収穫、種取り作業(自家農園含む) ポスター作製(協力飲食店対象) HP 発信(通年通じての管理)</p> <p>8月 収穫、種取り作業(自家農園含む)</p> <p>9月 収穫、種蒔き作業(自家農園含む) レシピ集作成(協力飲食店対象)</p> <p>10月 収穫作業(自家農園含む) 加工品の開発・成分調査依頼</p> <p>11月 収穫、定植作業(自家農園含む)</p> <p>12月 ネーミング応募(協力飲食店対象)</p>	<p>7月 収穫、種取り作業(自家農園含む) 畑の管理作業 加工品試作品づくり(クッキー、お茶、塩等)</p> <p>8月 異常気象により収穫を断念し畑の管理作業に専念 研修会、勉強会への参加</p> <p>9月 収穫、種まき作業(マルチかけ) かずさ DNA 研究所訪問 千葉大学との交流会</p> <p>10月 収穫作業、畑の管理作業 農家との打ち合わせ 日大との交流会 産業文化祭産業の部</p> <p>11月 収穫、寒冷紗シート掛け作業 愛菜フェスティバル参加 協働事業プレゼンテーション アグリビジネス創出フェア視察 県主催協働事業セミナーに参加</p> <p>12月 支援の会開催 大網高校生物工学科植物工場専攻担当教諭との話し合い</p>
<p>1月 ネーミング選考・決定(協働事業団体内部にて)</p> <p>2月 収穫作業(自家農園含む)</p> <p>3月 収穫作業(自家農園含む) 種まき作業(自家農園含む) 小売店への PR(パック詰め商品および加工品)開始</p>	<p>1月 PR 動画作成 役員会議</p> <p>2月 一般市場販売に向けての準備</p> <p>3月 農家との打ち合わせ 成果報告書・決算報告書・活動報告者作成 一般市場販売に向けての準備 動画ポスター制作</p>

また、当初の計画と実績をみて、事業スケジュールの組み立ては妥当であったかについて、自己評価 (☑) をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体
<input type="checkbox"/> 適正であった <input checked="" type="checkbox"/> 概ね適正であった <input type="checkbox"/> あまり適正でなかった (理由) 生産分離に向けての農家との話し合いの広がり難しく、時期によってはハウス栽培物の収穫が間に合わない時期があった。しかし、知名度を上げる広告や宣伝など販売戦略においては効果ある活動が出来た。

【 ④継続性 】

住民協働事業により「人・もの・情報・スキル」等、団体の活動基盤が強化した点や活性化した点について記入してください。

(例: ○○を購入したことにより○○のスキルが上がり、効率的に活動できた。○○活動により団体の認知度が高まり、参加者が増えるとともに会員も増えた。)

また、2年目、3年目の事業については、1年前、2年前と比べて、事業を継続したことで得られた効果も記入してください。

<ul style="list-style-type: none">・他団体のあみナビ会に、広告・宣伝的な部分で、HP の作成及び管理や PR 動画の作成の中でも重要な編集作業を請け負ってもらったことで、クオリティの高い HP や動画を作成することができ、より多くの人たちに大網のハマボウフウを知ってもらえることが出来た。・地元のボランティアの方から、耕運機を貸し出してもらったことにより畑での作業効率が上がった。・かずさ DNA 研究所に依頼して、ハマボウフウの成分解析を行った。「ハマボウフウを食品素材としたアンチエイジング作用など高付加価値化を目指した基盤研究の開発に関する研究」を合同研究として締結したことは、大きな成果であった。機能性食材としての位置づけが出来た。・もう一つの活動でもある環境 (ハマボウフウの自生を白里海岸に戻すため) の活動を通じてこの会の活動を市長や多くの市民にハマボウフウの存在価値を知ってもらえたことと、実際に栽培物を協力店で食してもらえる機会が出来たことは、宣伝効果として大変大きいことであった。・他企業から関心が寄せられ、生産が確立したら販売させてほしいとの企業もあった。
--

また、その結果について、自己評価（☑）をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体
<p><input checked="" type="checkbox"/> 強化、活性化した</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね強化、活性化した</p> <p><input type="checkbox"/> あまり強化、活性化しなかった</p> <p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none">・プランニングに関してコンサルタントの助言の元 スケジュール、財務、プランニングの管理が機能し 役員、会員ともに定期的な会合を重ねてきたことで士気があがった。・プラン、ドウ、チェック、アクションの PDCA サイクルが機能した。 <p>財務の管理も迅速にでき、経営戦術や戦略が会員の中から提案できるくらい力がついた。</p>

【 ⑤必要性 】

団体と市が協働することで、行政サービスの充実・効率化等につながったか、協働による効果について記入してください。また、協働事業として実施し、良かった点や問題点等について記入してください。

団 体
<p>事業開始し二年が経過したが、まだまだこれから広がる可能性を秘めた事業だけに、今後も行政との良い関係を構築していきたい。</p> <p>販売の拡大・生産農家の拡充において、今後もより多くの部署と必要な情報交換と協働しての実行を進め、より強い協働による効果・成果が得られるように努力する。</p> <p>関連部署を広げてくれたことは、カバーする内容が広がった点では、充実したと思う。しかしながら 実際の活動に結果を得るまでに至っていない点も多く、今後の課題となると感じている。</p>
市
<p>協働事業の実施に伴い、大網白里市の観光及び新たな特産品への検討を行うことが出来た。</p> <p>平成 30 年度に調査研究された情報について、今後の加工品作成や情報発信に活用できるようお願いしたい。</p>

また、その協働による効果について、自己評価（☑）をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体	市（関係課）
<p> <input type="checkbox"/> 効果があった <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果があった <input type="checkbox"/> あまり効果はなかった。 （理由） 関連部署と連絡連携が取れるベースができていたこともあり、関係はスムーズであった。また農業・栽培・宣伝に関しては農業振興課と商工観光課と連携することにより効果があった。 </p>	<p> <input type="checkbox"/> 効果があった <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果があった <input type="checkbox"/> あまり効果はなかった。 （理由） 平成30年度においては、主に調査研究に関する取組みが行われた。 また、市内での流通方法について、複数の協力店を確保することが出来たため、今後は生産方法の確立が必要と思われる。 外部への発信について、PR 動画の作成などインターネットを媒介とした提供を行い始めたため、今後の更なる情報発信について検討を進める必要がある。 </p>